

いつか住みたい / 住み続けたい /

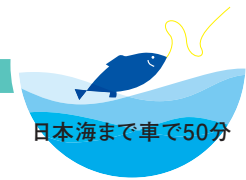
究極の田舎

京都美山  鶴ヶ岡

～第1部 良いところ自慢編～



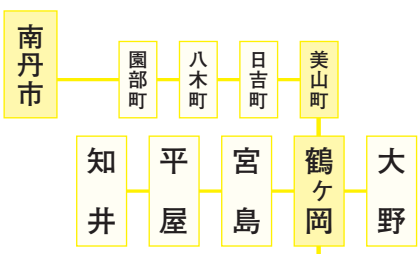
鶴ヶ岡マップ



- 駐在所
- ガソリンスタンド
- 郵便局
- EV急速充電スポット



- ① ~ ②② = P2~3参照
- A ~ P = P3~4参照
- あ ~ さ = P9参照



鶴ヶ岡は5大字18区で構成されています。

大字	高野	鶴ヶ岡 <small>(字鶴あざつる)</small>	豊郷	盛郷	福居
区	今宮 栃原 砂木	棚川 殿合 舟津	松尾 神谷 名島	田上 吉田 林	庄田 脇 熊壁 山森

鶴ヶ岡のみどころ



1 頭巾山

標高871m。
海が見える鶴ヶ岡の展望台。
山頂には許波岐神社の祠があり、
雨の神・冠巾山十二社大権現が祀られる。

山 森



洞

4 音谷の滝

地元民が溺愛している
ホットスポット。
落差65mの三段滝。
地元民が遊歩道を整備し、
申込制ツアーも開催。



雪景色



殿の上げ松

田土
殿
川合

13 盛郷の上げ松

15 殿の上げ松

16 川合の上げ松

ト口木に松明を点火させる
火祭り。
鶴ヶ岡に夏の終わりを告げる。
※P5参照



14 法明寺桜

京の「桜守」、15代佐野藤右衛門氏が命名。
山桜の突然変異で花弁の数が多くなった樹齢250年の
八重桜。

殿



2 百日紅の郷

福居地内を「百日紅(ひゃくじつこう)
の郷」と呼び、川沿いに「百日紅(さるすべり)」を植えている。

福居



3 明神滝

落差8mの二又の滝。
深緑の滝壺に石を放り込むと大雨
が降る。

洞



5 聖ヶ谷

47の滝が連なる。
晩春にはシャクナゲと山桜が咲き
誇る。

洞



6 ホタル街道

地元民がウッドチップを敷き詰めた
散策道。
恐るべきホタルの数。

洞

鶴ヶ岡のみどころ



7 神谷の水車

地元民総がかりで手づくりした神谷のシンボル。
冬には「神谷雪まつり」も開催。

神谷



8 中風寺

日本唯一の中風(マヒ)除けのお寺。

松尾



9 下谷のカツラ

いくつもの幹が束になったカツラの巨木。
山の神。

名島



10 水泳場

琴平橋の下にある。
子どもたちは川遊びで自然との距離感をつかむ。

松尾



11 林の桜並木

鶴ヶ岡を代表する桜スポット。
西の鯖街道に約100本の桜が咲き誇る。

林



12 盛郷の桜公園

住民の憩いの桜公園。
河原に降りると盛郷の上げ松広場がある。

田土



17 諏訪神社

鶴ヶ岡のパワースポット。
狩猟の神を祀る。
※棚野の千両祭:P5参照

川合



18 花の丘

砂木の玄関口にある。
四季折々の花が咲く観光客などの写真スポット。

砂木



19 砂木のお堂

かやぶき屋根でできたお堂。
春になると周りに桜が咲く。

砂木



20 今宮城址

川勝氏により築かれた山城。
築城年代不明。
城主は川勝光照。

今宮



21 そら岩

ジュラ紀から白亜紀に海中に堆積した泥が圧縮されてきた黒色頁岩。

今宮



22 ささゆり苑

絶滅危機だったササユリの群生地を地元民が保護し復活させた。

今宮

鶴ヶ岡のお店・施設



A Taisanboku Miyama

宿

田舎暮らしが体験できる1日1組限定の貸し切り宿。

所在地:南丹市美山町福居見館1
電話:080-5325-7000
受付:10:00~17:00

山森



B ゆるり

宿 食

かやぶき民家レストラン。
農家民泊も行っている。
宿泊予約受付中。

所在地:南丹市美山町盛郷佐野前15
電話:0771-76-0741
営業:昼12:00~夜18:00~
(夜のみ1組限定)

林



C 一網打尽

獣

鹿・猪をおいしい食材に加工販売して獣害に立ち向かう。

所在地:南丹市美山町盛郷佐野前15
電話:090-3713-8213(梅棹)
受付:9:00~18:00

林



D 料理旅館 きぐすりや

宿 食

大正8年創業。明治時代は薬商。
西の鯖街道沿いの宿。

所在地:南丹市美山町鶴ヶ岡今安8-1
電話:0771-76-0015
受付:8:00~19:00

殿

鶴ヶ岡のお店・施設



E とこや 詰(てつ) 髪

理容室。
出張・送迎可能。
デイサービスにも出張。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡タコ田16-4
電話: 0771-76-0819
営業: きままに開店…

殿



F 細川商会 工

自動車・自転車・農林業用具の販売整備を行う。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡小田4
電話: 0771-76-0026
営業: 8:00~18:00 (不定休)

殿



G 鶴ヶ岡振興会 拠

鶴ヶ岡のムラづくり活動拠点でインフォメーションセンター。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡新釈迦堂前1
電話: 0771-76-9020
営業: 8:30~17:00 (※土日祝日・12/29~1/3)

殿



H ムラの駅 たなせん 店 店

鶴ヶ岡ムラの憩いと安心のステーション。バラエティ豊かな品揃え。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡新釈迦堂前1
電話: 0771-76-0016
営業: 8:00~18:00
9:00~17:00 (日祝日)
(※年末年始・お盆)

殿



I 大矢吉 店

創業明治18年の酒屋さん。
タバコはここだけ。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡タコ田29
電話: 0771-76-0301
営業: 店主がいる時(定休日なし)

殿



J 双葉美容室 髪

マダムが集う美容室。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡宮ノ前13-1
電話: 0771-76-0123
営業: 電話予約制

殿



K 旧鶴ヶ岡小学校 拠

廃校後も体験教室や会議、スポーツなどで活用している拠点施設。宿泊施設・農家レストラン・地域交流スペースとしての活用も模索中。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡宮ノ前23-2
電話: 0771-76-9020 (鶴ヶ岡振興会)

川合



L 小畑自動車整備工場 工

自動車の販売・整備を行う。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡溝ノ下タ7
電話: 0771-76-0005
営業: 9:00~17:00 (※日祝日)

川合



M 三色スマイル 食

体に優しい手づくり弁当。1個から配達可能。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡溝ノ下タ10-1
電話: 0771-76-9070
営業: 8:30~17:00 (※土日祝日)

川合



N 下田石油 油

燃料、タイヤ、その他自動車用品販売。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡川合新田23
電話: 0771-76-0126
営業: 7:20~19:30 (※日)

川合



O 旬彩 一禾 食

美山のもっちりご飯と美味しい魚でおもてなし。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡柏原64-4
電話: 0771-76-0076
営業: 昼11:30~14:30 夜18:00~22:00
(※火、月水は昼のみ営業)

棚



P フリアン 食

美山でケーキといえばココ。使用する小麦粉は鶴ヶ岡産。

所在地: 南丹市美山町鶴ヶ岡棚上新田4-2
電話: 0771-76-0751
営業: 9:30~17:30 (※木)

棚

宿 宿泊施設
 食 飲食店
 獣 獣肉加工販売
 髪 理美容室
 工 工場
 拠 地域活動拠点
 店 食品等販売
 油 ガソリンスタンド

鶴ヶ岡の歳時記

ムラガーレ食堂 / 4~11月

月1回、ムラの駅たなせん前でオープンする朝市の野外食堂。美山の食材をふんだんに使用し、季節ごとの逸品はプロ料理人の腕が光ります。年3回の夜間開催では地域住民が集います。
電話:090-3713-8213(代表 梅棹)



キャニオニング洞谷コース / 6~9月

消防士さながらビッグな滝を懸垂下降。事前講習してから、時間の許す限り何度でもトライできます。約6mの天然ウォーターライダーのおまけ付き。
電話:0771-77-0509(田歌舎)



栃の実の収穫体験ツアー / 9月上旬

鶴ヶ岡に古くから伝わる伝統食「栃餅」を後世に受け継ぐために企画したツアー。



電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)

洞の松茸採り / 10月

本物の松茸山で松茸採りが体験できます。昼食は全部美山産の松茸・地鶏・地卵のすき焼き、松茸ごはん、松茸お吸い物。松茸不作の場合は中止します。
電話:090-1446-1007(担当 下田)



山里の記憶伝承教室 / 不定期

鶴ヶ岡に伝わる伝統食や伝統工芸の技術を守り受け継ぐため、匠に教わる教室です。町外からの参加も多く、すぐに定員オーバーになる大人気の講座です。

- ・鯖なれ寿司づくり
- ・栃もちづくり
- ・しめ縄づくり
- ・みそづくり
- ・そば打ち
- など



電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)

洞の滝トレッキングツアー / 4~11月

名瀑「音谷の滝」の全貌が見える林道、滝の真ん中、滝壺の3カ所から眺めを楽しめます。地元ガイド同伴でないといれない秘境を歩いてみませんか?

電話:0771-75-9030(南丹市美山観光まちづくり協会)



上げ松 / 8月24日

高さ20mを超えるト口木に松明を放ち点火させ、農作物の豊かな実りへの感謝と火の神「愛宕神社」へ火魔封じを願い、献燈される火祭り。多くの観光客が訪れます。
電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)



洞峠の風にふれあう交流会 / 10月

明智光秀も通ったとされる美山と綾部を結ぶ古道「洞峠」。両側から登山して山頂で合流後、隔年交代で美山側または綾部側に下山して交流会を行います。
電話:090-1446-1007(担当 下田)



実りの秋まつり / 11月第3日曜日

「農産物品評会・即売会」「鯖料理コンテスト」「屋台」「ステージ発表」などあり、鶴ヶ岡ならではの食文化が楽しめます。

電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)



田舎暮らし体験ツアー / 不定期

農林業などの仕事や川遊びなど「鶴ヶ岡の暮らし」をお試していただけるプログラムです。田舎への移住を考えている方に好評です。
・夏しごと夏あそび(そば播種、川遊び)
・百姓(手鎌での稲刈り、稲木干し)
・木こり(間伐、玉切り植栽、獣害対策)など

電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)



Miyo Hora Botaru(見よ洞ぼたる) / 6月

かえるの唄と木の香り、竹灯笼のほのかな灯りに包まれて、満天の星空とぼたるのきらめきが真っ暗な川面に反射します。山里の美と静寂を感じてみませんか。

電話:090-1446-1007(担当 下田)



夏まつり / 8月24日前後

「うら盆」の8月24日前後の土曜日または日曜日の夜に開催。帰省者も含めて地域内外から多くの方が訪れ、夜店やステージ、福引を楽しみ、元気な笑い声が響きます。
電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)



棚野の千両祭 / 10月

諏訪神社の例祭のうち、15年に1度の中祭と、30年に1度の大祭。5大字ごとに異なる民俗芸が奉納され、華麗さや多額の費用をかけることから千両祭と呼ばれています。京都府無形民俗文化財。
電話:0771-76-9020(鶴ヶ岡振興会)



神谷雪まつり / 2月

かまくら・雪だるま・雪像づくりなど、雪遊び満載の1日。遠方からバスで毎年訪れる家族連れが何組もいる、奥地にして人気の鶴ヶ岡唯一の雪イベント。屋台も出て本格的なお祭り気分が味わえます。
電話:090-7870-8735(担当 前田)



茅刈体験 / 不定期

かやぶき屋根に必要な「茅」を収穫する体験を、不定期で実施。市外から建築に興味がある方が多く参加され、この体験をきっかけに茅葺職人になった女性もいます。

電話:090-7482-4596(担当 塩澤)



鶴ヶ岡の食・伝統技能



鯖なれ寿司

海の幸と山の知恵が融合した発酵食の逸品。若狭から京の都へ海の幸を運んだ「鯖街道」を通った鯖で作られてきた。

鯖寿司(押し寿司)

この地域では、お祭りや慶弔時など特別な時に鯖寿司が作られてきた。



枳餅

枳の実(トチノキの実)を餅米と蒸し、ついた餅。黄土色や茶色がかった色味で、粘りが少ない。



しめ縄

昔から各家庭で作られていたしめ縄。現在でも鶴ヶ岡しめ縄グループを中心に伝統が継承されている。



朴葉飯

炊きたてのかやくご飯や豆ご飯を朴の葉で包んだもの。田植えの休憩時に食べられてきた。



松茸

全国に誇る丹波の松茸。美山町内でもとても希少。

白餅

うるち米と餅米の米粉を水で溶き焼いた餅で、山の神様にお供えする特別なもの。



山菜

タラ、コシアブラ、ワラビ、コゴミなど。シカ食害で減少。



ちまき

米粉の餅を笹の葉で包み、蒸したもの。



鮎

令和元年大嘗祭にも供納された美山川の鮎。利き鮎会準グランプリ5回受賞。



アマゴ

真の清流にしか棲まない雨子(アマゴ)。鮎と並ぶ川の美味。



ジビエ

数が増える鹿・猪を一網打尽の手で美味な食材に。



文化を伝承するグループ



枳の里

60代や70代が中心となって枳餅、おかき、お餅などを生産している。大きなトチノキの看板が目印。



洞しやくなげグループ

枳餅・鯖なれ寿司など地元食の継承・開発・普及に取り組んでいる。現役を貫くバフフルな洞のマダムが活躍。



鶴ヶ岡しめ縄グループ

しめ縄の技術を継承し続けているグループ。「お稲荷さん」で有名な伏見稲荷大社の大しめ縄は鶴ヶ岡のお年寄りたちがつくっていた。匠の技は圧巻。

鶴ヶ岡のムラづくり

● 鶴ヶ岡振興会

『住み続けられるまちづくり』をテーマに、誰もが住み続けたいまちをめざして「鶴ヶ岡地域振興計画」を策定し、「にぎわう地域づくり」「やさしく地域づくり」「かがやく地域づくり」「うらおう地域づくり」「つながる地域づくり」の5つの目標を掲げています。また、住民アンケートに基づく「推進プラン」のもと、18集落(区)の幅広い年代層が連携して定住促進や都市農村交流など多くの活動を展開しています。住民の利便性を確保するため、各振興会には市の職員が常駐し、住民票の発行など行政窓口サービスも行っているほか、振興会は下記の取組も行っています。

○ 鶴ヶ岡振興会新聞

毎月1回発行し、全戸配布しています。地域の取組やお知らせ、地域であった旬のニュースなどを掲載しています。



鶴ヶ岡振興会新聞

○ ツルガオカカンキョウセイビ

旧鶴ヶ岡小学校のグラウンドや体育館などは、災害時の避難所やイベント会場として使用する大切な施設です。「ツルガオカカンキョウセイビ」という名称でグラウンドの草引など、年2回住民総出で整備作業を行っています。



ツルガオカカンキョウセイビ

○ 小さなまちの美術館

鶴ヶ岡振興会の入り口横のスペースは、鶴ヶ岡の誰もが自分の作品を発表できる美術館になっています。たくさんのアーティストが、年中かわるがわる作品を展示します。鶴ヶ岡の人と文化を再発見できる、にぎやかな場所です。



小さなまちの美術館

○ 美山暮らしのアプリ

ICTを活用して、高齢者などの見守りや安否確認、地域イベントや野菜の出荷情報などを配信し、地域内の交流を促進しています。

● 有限会社タナセン

鶴ヶ岡の店「ムラの駅たなせん」を運営する購買部、大豆やソバの作業受託などを通じて農地保全を行う農事部、雪かきや無償移送サービスにより高齢者などの生活を支える福祉部からなります。農協の撤退を期に、住民出資により平成11年に設立されて以来、住民生活や地域環境を支えています。

○ 鶴ヶ岡ふるさとサポート便

高齢者などの買い物を支援するため、注文に応じて商品を届けます。また、販売する野菜の集荷を行います。

・配達日：月・水・金曜日

○ 高齢者等無償移送サービス

買い物や診療に自力で行けない高齢者などを対象として、市営バスやデマンドバスが運行しない時間帯に、専用車両による移送を行っています。

○ 除雪代行

「南丹市高齢者等除雪対策事業」を活用して、タナセン福祉部が除雪を代行しています。ニーズに応じて対象となる高齢者宅を登録して専任のオペレーターをつけ、依頼ごとに除雪を行います。利用者は1割負担です。(費用例:家から道までの除雪30分なら機械作業175円、手作業125円)

● 鶴ヶ岡の未来を考える女性の会(鶴女)

美山町内で、最後まで活動を続けていた鶴ヶ岡婦人会が解散したあと、女性の力を生かし、地域の未来を考え盛り上げていくことができたらと活動しています。年末年始とお盆の頃に、ムラの駅たなせん前でペットボトルツリーを点灯したり、振興会の夏まつりなどをお手伝いしたりと、細々とした活動ですが、思いを切らさず工夫して続けています。



● サークル花づる

平成15年に結成し、ムラの駅たなせんの横にある「花づるの丘」やその周辺の除草、花の植え付けなどの環境整備を月1回程度行っています。「花づるの丘」や周辺の草が引け、きれいな花で彩られるのが何よりの楽しみです。作業休憩時に、みんなで美味しいコーヒーとスイーツを味わいながら、おしゃべりをするのも楽しみのひとつになっています。



● おはなしボランティア「赤ずきん」

平成16年に、鶴ヶ岡振興会が子育て支援を目的に、住民にメンバーを募ったところからスタートしたサークルです。高齢者のミニデイサービスや地域の方の集まりなどのほか、小学校の読み聞かせにも出向いています。また、絵本や紙芝居の読み聞かせだけでなく、地域に残る昔話や実話をもとにした紙芝居も制作しています。



● 京都みやまごんべの会

農林産物を創り出す「楽しみ・苦しみ・喜び」を体験するとともに、安心して使える食材、ものづくりを通じて会員相互の交流を図ることを目的に平成14年に組織されました。現在はソバづくりを通じて都市部の会員と夏・秋に交流しており、振興会行事などでは手打ちそばの販売も行っています。



● NPO法人京都桑田村

豊郷地内のお年寄りの知恵や技術を活かした集落元気づくりの事業から生まれたNPO法人。桑の栽培を通じて京都市内の保育園児や大谷大学幼児保育科の学生と昔遊びの指導などで交流しています。



● teamごんせ

平成27年に消防団員をメンバーに発足した的屋集団です。「美味しいもの地産地消」をモットーに美山町のイベントならどこでも出店しています。また、子どもも楽しめる内容になればと、射的や綿菓子もはじめました。ごんせの由来は、鶴ヶ岡の一部の方言で、「こっちごんせ、ごんせのお」(こっちへおいでの意味)からきています。



鶴ヶ岡の良いところまだまだあるよ



H 地元農家さんの野菜



H 舟津在住、市川さんの「ぶどう」



H 市川さんの「いちご」



H 地元のお店のお弁当



H 洞しゃくなげグループの「さばのへしこ」



H 熊壁楽しむ農場の「黒にんにく」



H ムラの駅たなせん毎週金曜日「フライデー」



H 「たなせんコーヒー」でコーヒーブレイク



H ムラの駅たなせんの「ソフトクリーム」



G 田土在住、大森さんの「菊」



G 大森さんの「サツキ」



鶴ヶ岡のスーパーバンド「あぜみち」

鶴ヶ岡の良いところまだまだあるよ



あ 山森の「弁天の滝」。5月には、しゃくなげの花が付近に咲く。



い 庄田の「観音堂」。源平合戦の書かれた絵や歌仙絵馬などが収納されているお堂。



う 洞の「大滝」。常時の水量は少ないが、大雨のときに姿を現わす落差74mの巨瀑。



え 洞の「唐戸淵」。児童伝説が残る神秘的スポット。



お 洞の「千本桜」。現在幼木を400本植栽。



か 上吉田の「隣接した神様」。山王神社、三宝荒神、稲荷神社、祇園神社が横一列に並ぶ。



き 棚の「百合谷川の滝」。昔は滝の水流を利用した発電所があった。



く 棚の「水車とグラウンドゴルフ場」。春には桜が咲き誇る。



け 「棚野川フラワーライン」。住民や来訪者が美しくて元気ある鶴ヶ岡を感じられるようにアジサイなどを植栽。



こ 栃原の「津向(つこう)」。鶴ヶ岡のマリアナ海溝。大きな淵で流れが強い。



さ 今宮の「猿飛」。奈良井谷にある絶壁。2つの壁の間には谷水が流れる。



子どもたちに受け継がれる「鶴陵太鼓」。

あしがき

私たちが暮らす「究極の田舎 鶴ヶ岡」は、先人が育て残してくれた美しい景観、モノづくりの技、ムラづくりの力など、豊かな自然と人の営みが同居するまちです。

また、地域愛と人のつながりがとことん強く、これらをエネルギー源にして、さまざまな困難を乗り越えてきた努力と根性のまちでもあります。

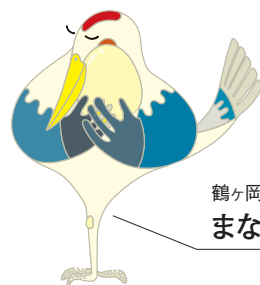
この冊子は、私たちが自慢に思っている地域の魅力を多くの方に伝えたくて、みどころや歳時記、食・伝統技能、ムラづくりなどについてまとめました。

この「良いとこ自慢」によって、鶴ヶ岡在住の私たちは、ふるさとの良さを再認識し、誇りを持って今後のムラづくりにつなげていきたいと思えます。鶴ヶ岡在住でない方は、まずは気になった場所やイベントなどに来ていただき、鶴ヶ岡に触れるところから私たちのおつきあいをはじめていただければ幸いです。

なお、この「良いとこ自慢」に記載したことが鶴ヶ岡のすべてではなく、書ききれなかったことや現在進行中の構想・取組もあります。

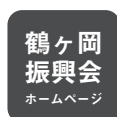
もっとくわしく「究極の田舎 鶴ヶ岡」をお知りになりたい方は、地域の生活や伝統・習慣、ルールなどを記載した「第2部 暮らしのてびき編」もぜひご覧ください。

令和2年4月
鶴ヶ岡振興会



鶴ヶ岡のマスコット
まなづるちゃん

鶴ヶ岡のいろいろな情報を発信します!!!



鶴ヶ岡振興会ホームページ
鶴ヶ岡振興会の取組や地域情報などの情報発信サイト

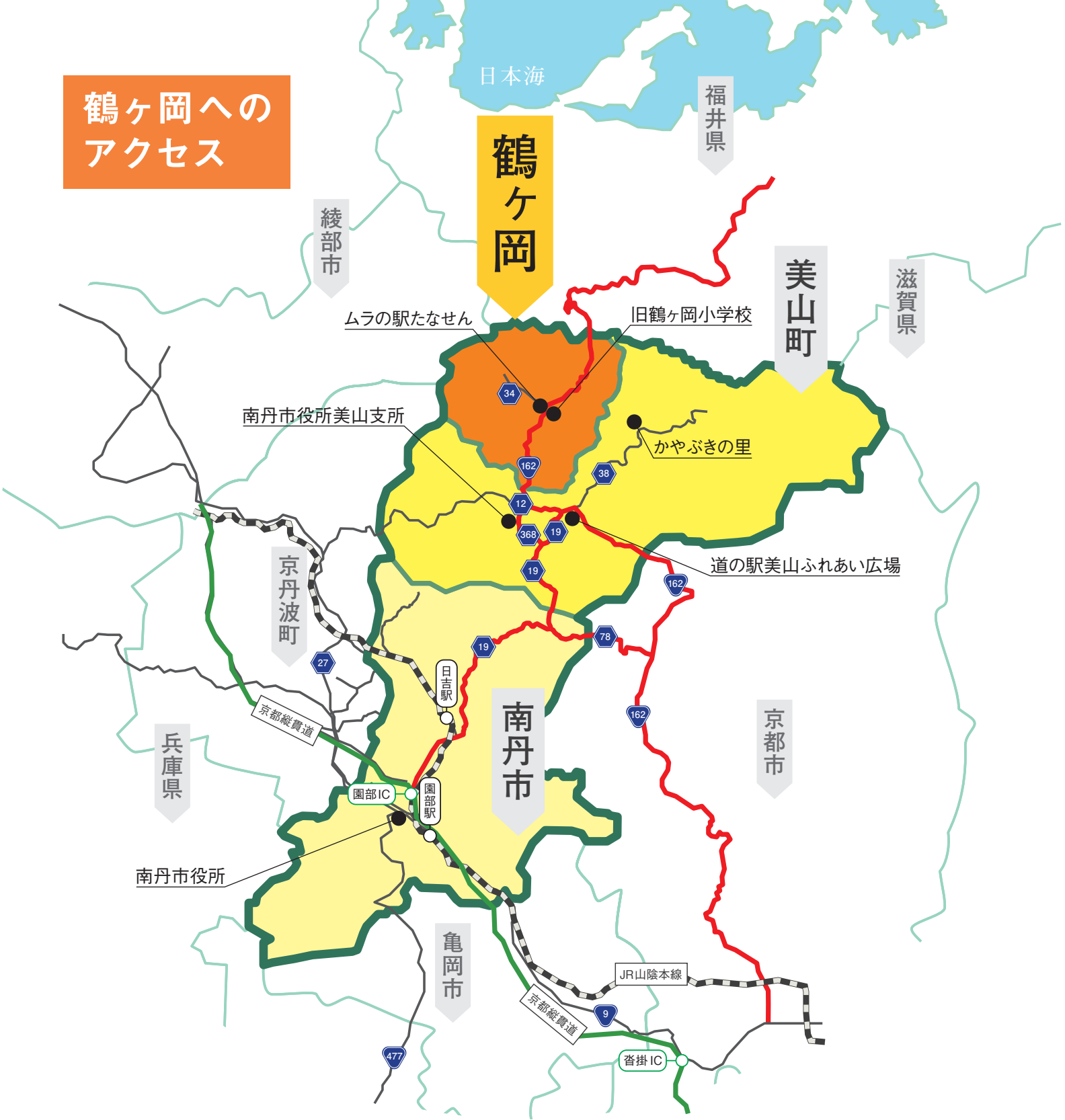


ある日ある時、鶴ヶ岡
鶴ヶ岡のイベント情報をラインで配信

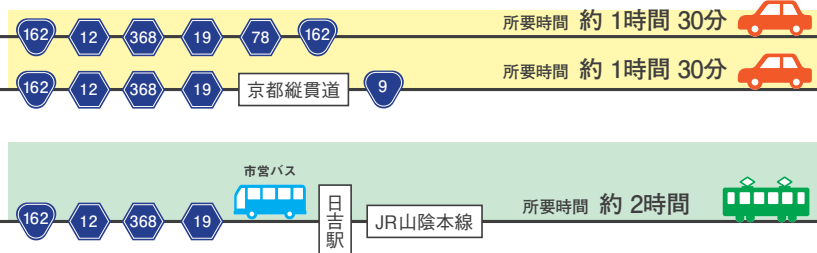


鶴ヶ岡振興会フェイスブック
鶴ヶ岡のリアルな生活を配信

鶴ヶ岡へのアクセス



鶴ヶ岡



京都駅

京都駅からは、国道162号を通るルートと、国道9号・京都縦貫自動車道を通るルートの2つがあります。
JR山陰本線の日吉駅(最寄り駅)から車で30分です。